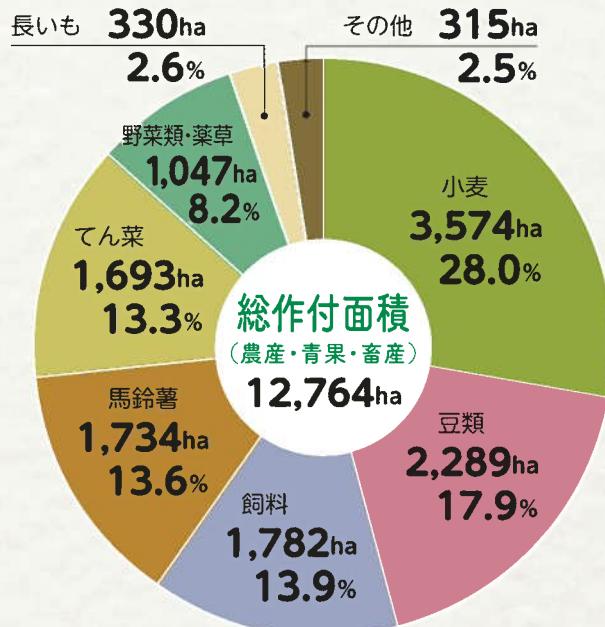


地域の農業

(令和3年)

農産物の作付構成



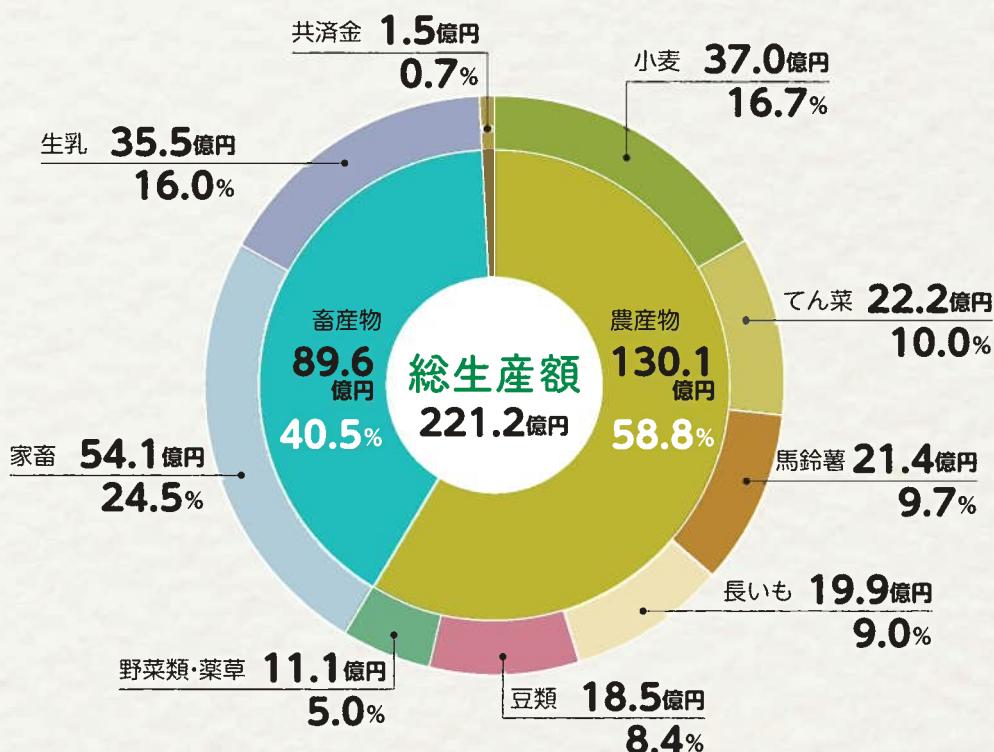
野菜類・葉草内訳 1,047ha

| | |
|----------|-------|
| スイートコーン | 417ha |
| 玉ねぎ | 130ha |
| 人参 | 120ha |
| 枝豆 | 83ha |
| 薬草 | 63ha |
| ごぼう | 52ha |
| かぼちゃ | 43ha |
| キャベツ | 42ha |
| グリーンアスパラ | 20ha |
| 長ねぎ | 19ha |
| ゆり根 | 4ha |
| その他 | 54ha |

家畜飼養頭数 30,492頭

| | |
|----|---------|
| 肉牛 | 19,581頭 |
| 乳牛 | 6,201頭 |
| 豚 | 4,710頭 |

農業生産額の構成



野菜類・葉草内訳 11.1億円

| | |
|----------|-------|
| スイートコーン | 2.0億円 |
| 薬草 | 1.9億円 |
| 玉ねぎ | 1.6億円 |
| ごぼう | 1.3億円 |
| 長ねぎ | 0.9億円 |
| 人参 | 0.8億円 |
| キャベツ | 0.7億円 |
| 枝豆 | 0.6億円 |
| かぼちゃ | 0.6億円 |
| グリーンアスパラ | 0.5億円 |
| ゆり根 | 0.2億円 |



組織概要

(令和4年4月1日現在)



- 名 称 帯広市川西農業協同組合
- 設 立 平成15年4月1日
- 地 区 帯広市一円
- 正組合員戸数 461戸

組合員 11,648名 正組合員 746名 準組合員 10,902名

- 出 資 金 24.1億円
- 役 職 員 理事 13名（うち常勤3名） 監事 5名（うち常勤1名）
職員 220名（パートを含む）

●組合員組織

- 農協青年部
- 養豚振興会
- 種子馬鈴薯生産組合
- 長いも生産組合
- Gアスパラガス生産組合
- キャベツ生産組合
- 澁原馬鈴薯地区委員長会
- てん菜対策委員会
- 農協女性部
- 食用馬鈴薯生産組合
- 豆類種子生産組合
- 薬用植物生産組合
- 白ねぎ生産組合
- 小麦生産組合長会
- 豆類対策委員会
- 酪農振興会
- 加工馬鈴薯生産組合
- 大豆生産振興会
- 百合根生産組合
- 玉ねぎ生産組合
- 馬鈴薯総合対策委員会
- 労働力対策委員会

●子会社等

- (株)JAサービス帯広かわにし（不動産賃貸・物品販売）
- JA帯広かわにし協同振興(株)（不動産業・物品販売）
- 有限責任事業組合帯広畜産センター（生乳の集乳・受託処理）
- (株)帯広市農業振興公社（乳牛等の預託）

沿革

| | | | |
|--------|--|--------|--|
| 平成15年度 | 帯広市川西農業協同組合設立 (帯広川西農協と帯広市農協による合併) 長いも集出荷貯蔵施設竣工 | 平成22年度 | 十勝型GAP導入 貯金残高800億円達成 |
| 平成16年度 | 帯広中央支店新築移転 長いも洗浄選別施設竣工 豆類小袋計量包装ライン竣工 | 平成24年度 | 長いも製品保管・出荷施設竣工 |
| 平成17年度 | 農産物生産履歴システム導入 加工馬鈴薯貯蔵庫竣工 豆類小袋計量包装施設 SGS HACCP認証取得 | 平成25年度 | 穀類乾燥調製施設(新品種対応)竣工 |
| 平成18年度 | 「十勝川西長いも」地域団体商標登録 帯広市川西長いも生産組合 日本農業賞大賞受賞 | 平成27年度 | 玉ねぎ選別貯蔵施設竣工 貯金残高900億円達成 |
| 平成19年度 | 帯広市川西長いも生産組合 農林水産祭天皇杯(園芸部門)受賞 長いも洗浄選別施設 SGS HACCP認証取得 | 平成28年度 | 「十勝川西長いも」 地理的表示(GI)保護制度登録 |
| 平成21年度 | 穀類乾燥調製施設竣工 | 平成29年度 | 十勝川西長いも運営協議会 輸出に取り組む優良事業者農林水産大臣賞受賞 「十勝川西長いも・小袋豆」JSQF認証取得 |
| | | 平成30年度 | 当組合の小豆が宇宙日本食「赤飯」の 使用原料に採用決定 |
| | | 令和元年度 | 長いも洗浄選別施設新ライン竣工 貯金残高1,000億円達成 |
| | | 令和2年度 | 「十勝川西長いも」 知財功労賞特許庁長官表彰受賞 |

事業概要

営農振興事業

地域農業の振興のための諸事業と、地域社会の消費・健康・文化・娯楽などきわめて広い生活改善の向上を図る活動を行っています。

- 農業経営の相談
- 農政活動
- 生活改善、教育、福祉活動

販売事業

消費者に安全・安心な農畜産物を提供するために、農家生産組織と一緒に、生産基準の設定、共同集荷・選別・出荷を行います。

地域の多くの農畜産物は、全国の卸売業者や食品加工業者に発送されます。

- 農畜産品別生産組織の事務局活動
- 農産物の共同集荷・貯蔵・選別・出荷業務
- 畜産物の集荷・販売業務

購買事業

共同仕入れにより、廉価・安定供給を図りながら、農業生産資材（肥料・資材・農薬・飼料・種子）と、地域の人々と密着した暮らしと生活を守る物資等、多岐にわたり販売を行います。

- 農畜産物生産に必要な資材の供給
- Aコープ店舗による生活物資の供給
- 特産品直売所の運営
- 燃料・自動車関連用品の供給
- 自動車の供給、整備事業の運営
- 農業用機械・部品・工具の供給

信用事業

地域に密着して、利用者にきめ細かなサービス提供と、健全な地域金融機関として、安全で有利な各種貯金、暮らしの夢をかなえる必要な資金を、JAならではの各種ローンでご利用頂けます。

- 貯金・融資・各種相談
- 年金自動受取・給与振込・公共料金口座振替等のサービス業務

共済事業

「信頼・安心・身近さ」をモットーに、ライフアドバイザーによるきめ細かな相談活動によって、地域の皆様の最適な保障と生活設計を応援します。

- 生活保障設計の相談・提案
- 終身共済・養老生命共済・年金共済・医療共済等の生命保障の提案
- 建物更生共済・自動車共済等の損害保障の提案

管理部門

経営管理、活力ある健全な職場づくり、職員教育等、組織を支え運営していくための活動を行います。

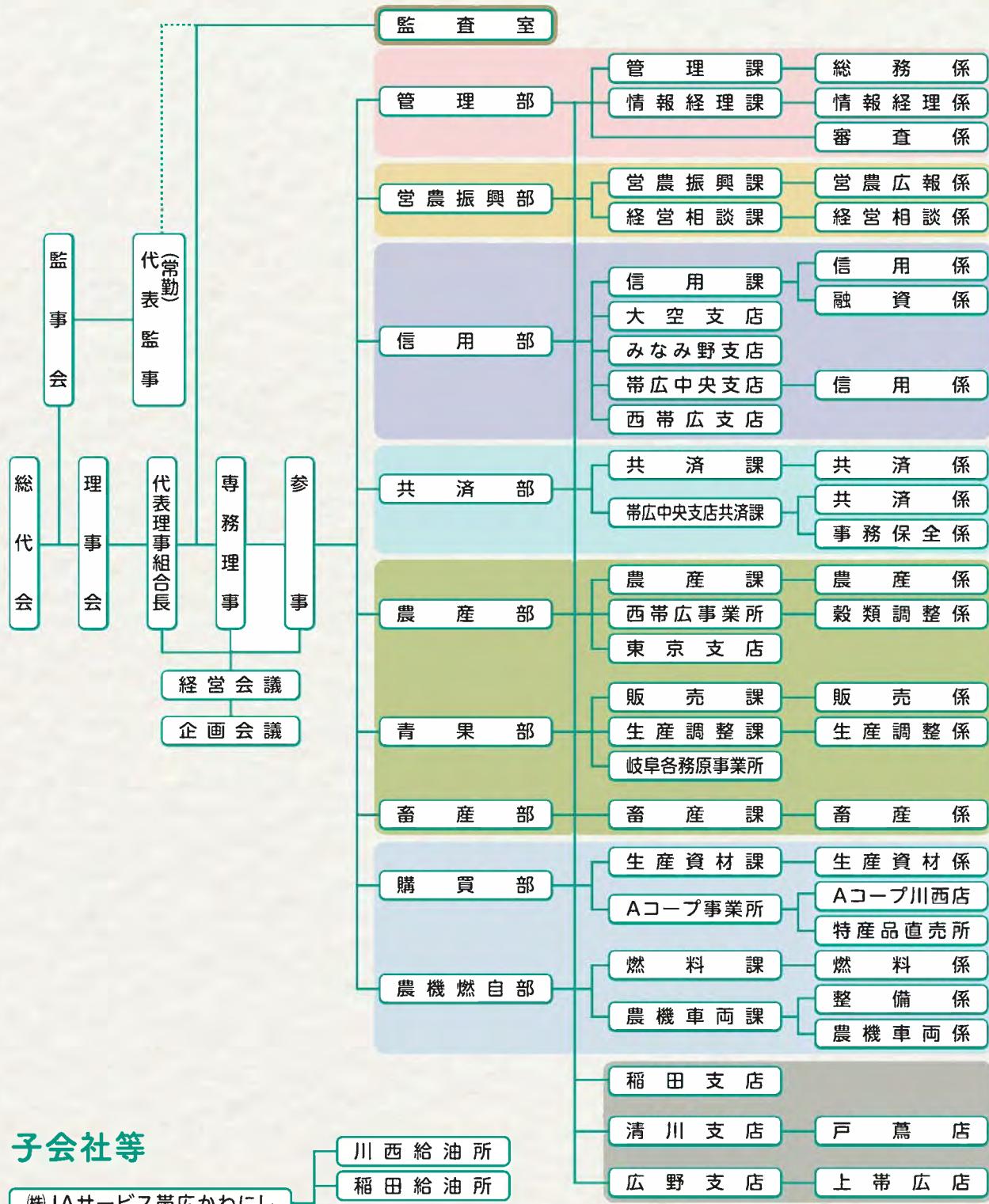
- 年次計画・決算・財務に関する業務
- 中期経営計画・人事・労務に関する業務

監査部門

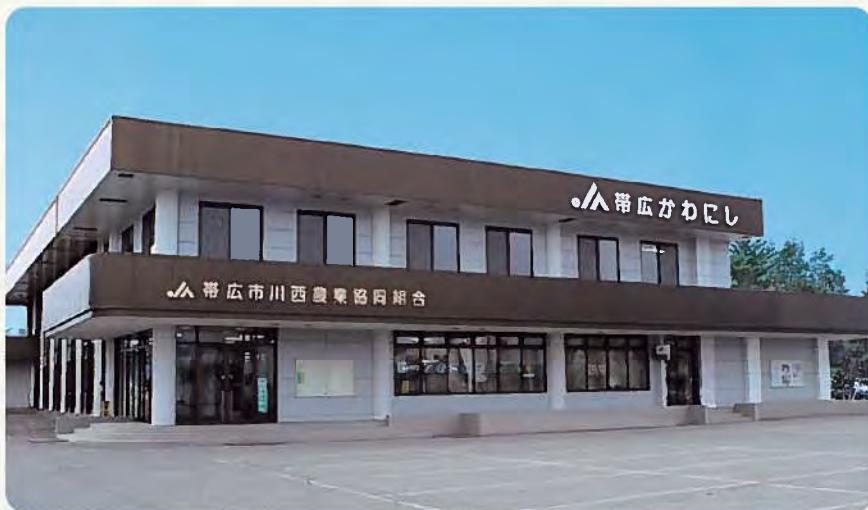
経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、内部管理体制が適切か評価し、問題点の改善方法について助言・支援を行います。

- 監査の実施・内部統制の有効性評価
- 不正・不当事件の未然防止
- 内部監査による情報収集と業務処理の効率化に向けた提案指導

機構図



主な施設



① 本店事務所



① 生産資材受渡所



① Aコープ事業所



① 農業機械管理センター

② 東京支店



帯広市内の施設所在地



本店 他
北海道帯広市

岐阜各務原事業所
岐阜県各務原市

東京支店
東京都千代田区

各店・事業所



③ 帯広中央支店



④ 稲田支店



⑤ 大空支店



⑥ みなみ野支店



⑦ 西帯広支店

農産部



⑧ 豆類小袋計量包装施設



⑧ 穀類貯蔵施設



⑨ 穀類受入乾燥施設

青果部



⑨ 長いも洗浄選別施設



⑨ 長いも製品保管・出荷施設



⑨ 長いも集出荷貯蔵施設



⑨ 加工馬鈴薯貯蔵庫



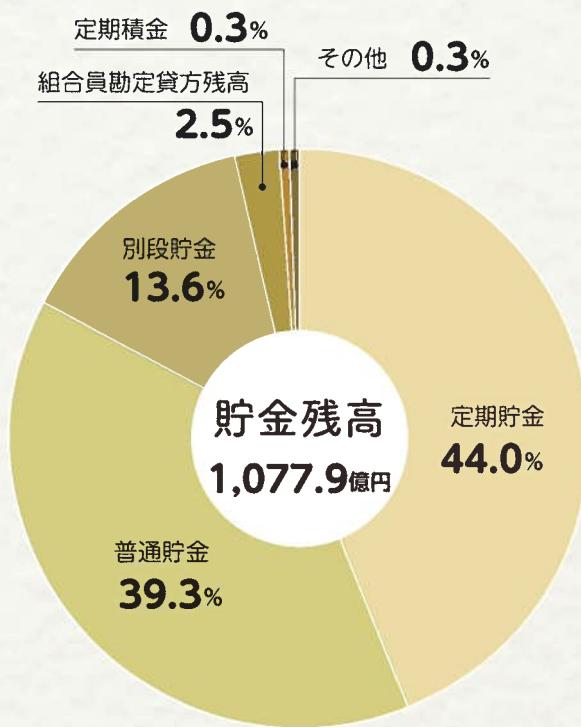
⑨ 玉ねぎ選別貯蔵施設



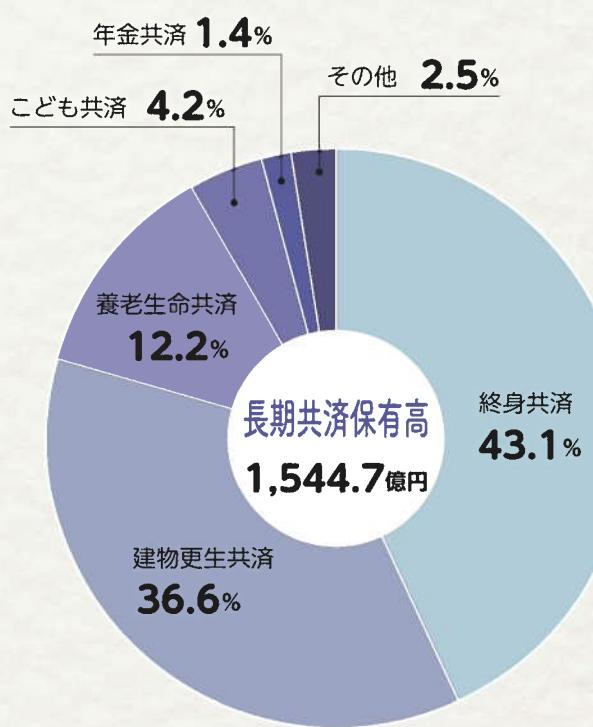
⑩ 岐阜各務原事業所

事業実績

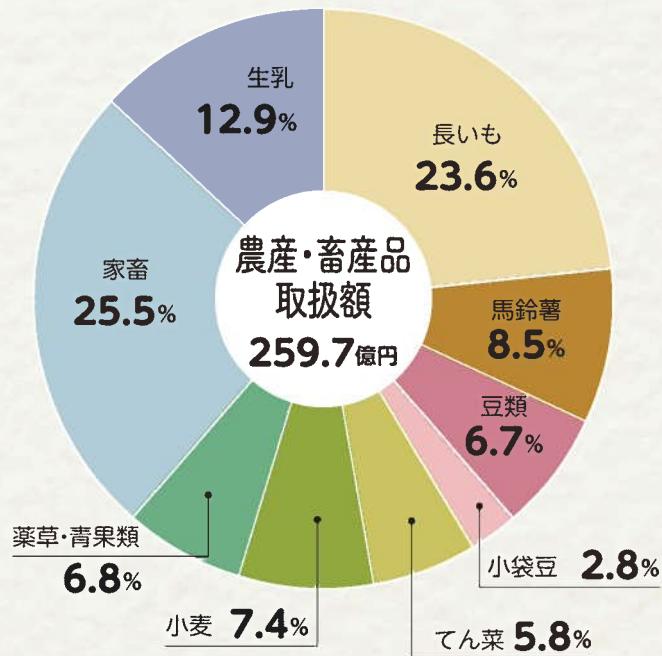
貯金残高



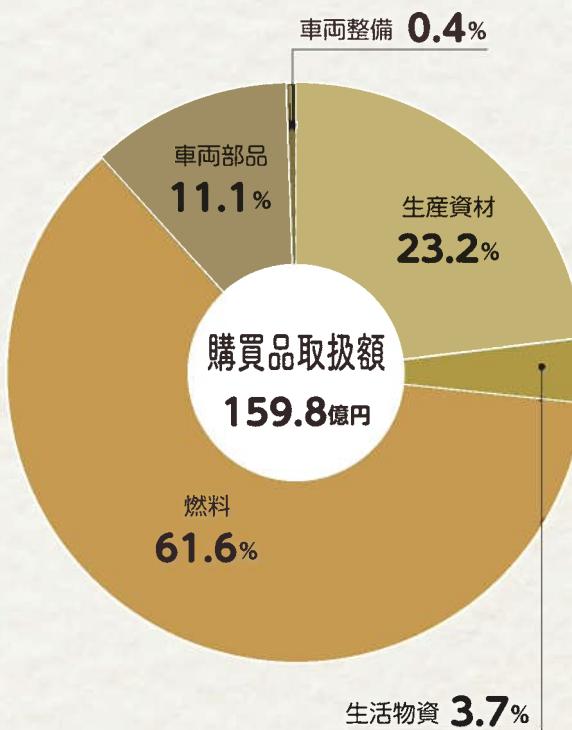
長期共済保有高



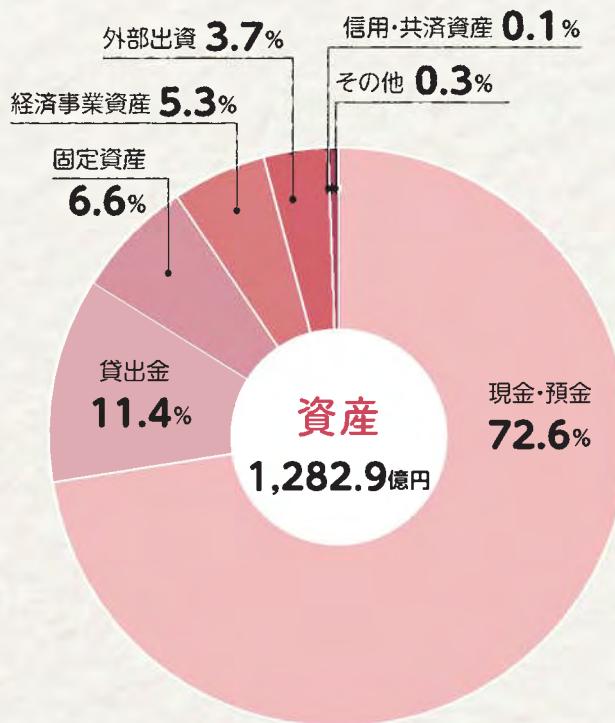
農産・畜産品取扱額



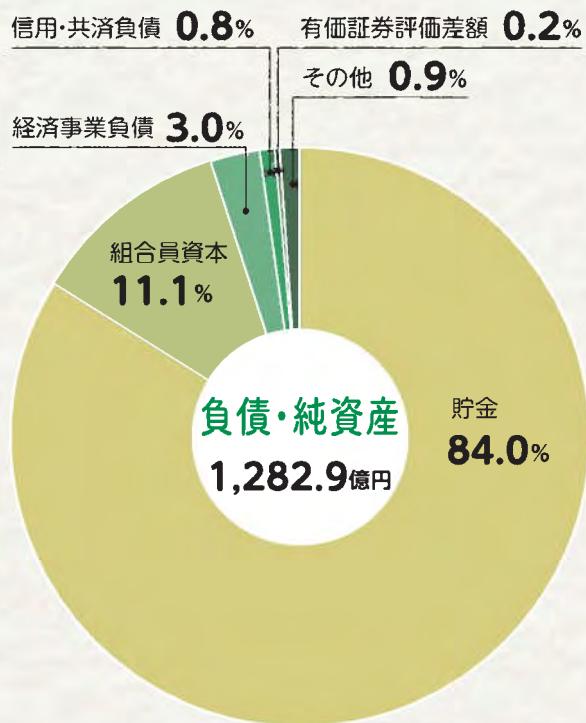
購買品取扱額



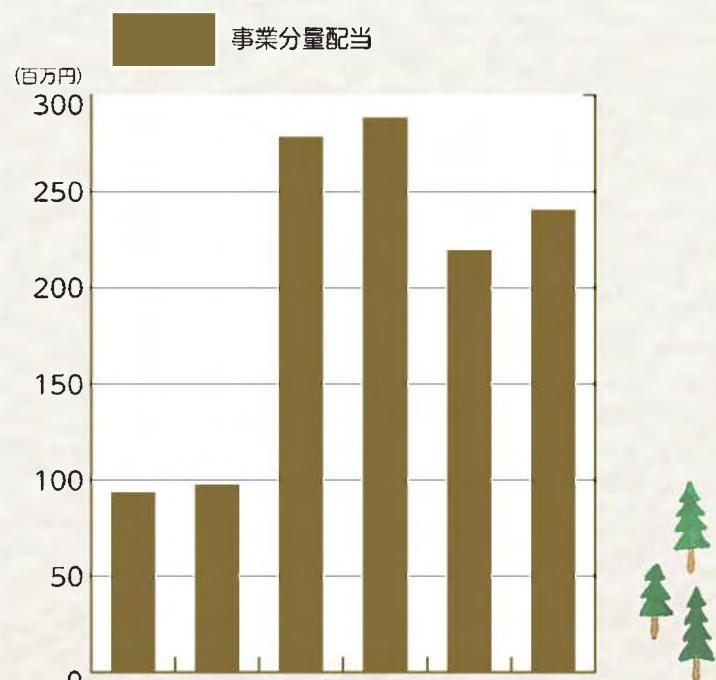
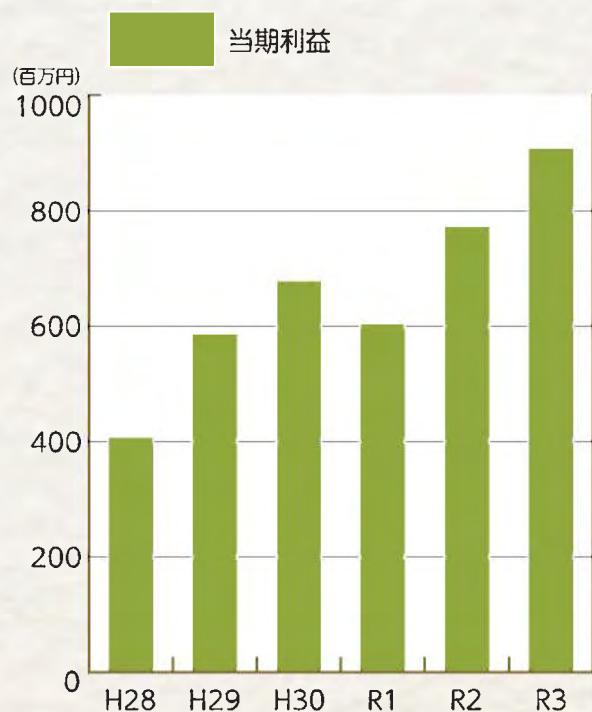
資 産



負債・純資産

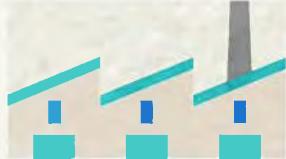


当期利益（税引前）と事業分量配当の推移



取り組みの紹介

1



究極の安全安心・さらなる高品質をもとめて…

HACCP・SQF

JA帯広かわにしは青果部（長いも洗浄選別施設）、西帯広事業所（豆類小袋計量包装施設）の両施設において、食品安全計画のHACCP認証の取得、更に国際基準でGFSIスキームである食品安全、品質プログラムのSQF認証を取得致しております。HACCP、SQF共に農産物選果場では珍しく、「安全安心高品質」の究極を求める精神で農産物提供に取り組んでいます。

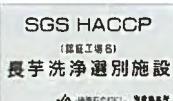
HACCP とは

食品などの製造工程で発生する恐れのある微生物汚染や異物混入などの危害要素を排除する国際的に認められた食品衛生管理の手法です。

SQF とは

Safe Quality Foodの略称で「安全で高品質な食品」を意味する国際規格です。第三者の審査機関によって定期的な審査が義務付けられており、その信頼性が保証されています。

青果部（別府事業所）



SQF認証の取得



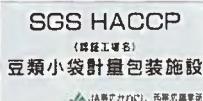
洗净選別施設
No.18488



皮むき施設
No.643155



西帯広事業所



SQF認証の取得



豆類小袋計量包装施設
No.643154



最先端の長いも工場

自動化された 長いも選果場

JJA帯広かわにし青果部(長いも洗浄選別施設)は更なる効率化、省力化を求め新技術の採用、開発を行い長いも選果場の自動化に取り組みました。

個包装

従来のおが粉入り段ボールから個包装(フィルム包装)に変更することで消費地でのおが粉処分の課題が解決されました。

国内初のタイムレス超音波シール(注)の採用により従来の個包装より品質保持期間が長くなりました。

個包装ごとにシリアル番号を記載することで一本でのトレーサビリティが可能になりました。

(注)タイムレスとは特殊な溝を成型する超音波シール技術



製品の保管から出庫までは平成24年に自動化



新技術の開発

- ①振分ラインの開発
- ②箱詰めロボットの開発

新技術の採用



- ①3Dカメラの採用
3Dカメラで規格・サイズの判定を自動化



- ②タイムレス超音波シール搭載包装機の採用(日本初)

自動化された長いも選果場の動画は
右記のQRコードから
ご覧いただけます。



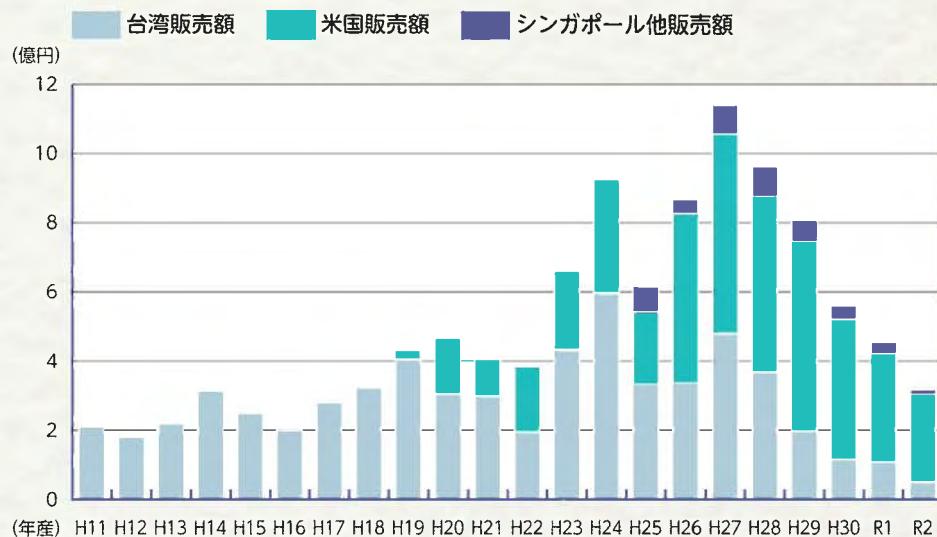
取り組みの紹介 2

世界へ羽ばたく「十勝川西長いも」

海外輸出

太物が好まれる台湾への輸出を平成11年よりスタート致しました。さらに平成19年より米国の中華系スーパー向けの輸出を開始し、国際規格の認証を取得していることが海外での信頼の証となり、現在では全出荷量の15%程度が海外に輸出されております。

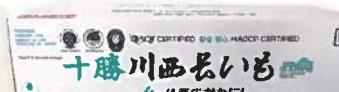
輸出金額の推移



「十勝川西長いも」は、現在、JA帯広かわにしを含む10JAで生産されており、全国でも最大規模の産地です。豊作時に価格が低迷すること、太物（4Lサイズ）は国内では敬遠され低価格の取引となることから、漢方薬として



▲ 国内用 長いも



▲ 台湾・米国他輸出用
長いも



▲ シンガポール輸出用
長いも

唯一のブランドを目指して…

地理的表示(GI)保護制度

JA帯広かわにしの「十勝川西長いも」は、地域ブランドを守るために「地理的表示保護制度」の対象科目として平成28年10月12日に登録を受けました。



地理的表示(GI)保護制度とは

地理的表示(GI)保護制度とは、特色がある地域の農林水産物や食品の名称を地理的表示として登録し、国が知的財産を保護する枠組みです。

登録には品質や社会的評価が確立し、産地と結びついていることが条件となっています。

日本全国へ家庭用豆類を販売～産地から食卓へ～

東京支店



JJA帯広かわにしは、地域の魅力的な農産物の価値を最大限に引き出したいと考えており、小豆などの豆類を原料として販売するだけでなく、家庭用製品として安全・安心で高品質な小袋豆や豆関連加工品などを販売しております。

東京支店は、小袋豆などの販売窓口として、昭和47年に東京サービスセンターの名称で活動をスタート致しました。その後、首都圏等大消費地での評価の高まりを受け順次フォローワーク体制の整備に着手し、昭和58年には東京営業所、平成4年には現在の東京支店へと機構改革を行いながら全国の販売地域を管轄する体制を築いております。

事業開始から今日に至るまで多くのお客様からの支持を受け、全国の家庭へ豆類を届けております。

ピロータイプ



小豆



大納言



大正金時



大豆



光黒大豆

JJA帯広かわにしの「小豆」が宇宙へ

宇宙日本食

平成30年1月以降、尾西食品株式会社様製造の宇宙日本食「赤飯」の原料として当JAの小豆を供給しております。この製品の原料は宇宙日本食の他、「尾西の赤飯」として災害や緊急時の保存食として広く利用されております。今後も生産者とJAが一体となり安全・安心に加え高品質な農産物の提供に向けた取り組みを継続して信頼に応えて参ります。



©JAXA/NASA



OBIHIROSHI-KAWANISHI
AGRICULTURAL CO-OPERATIVE SOCIETY